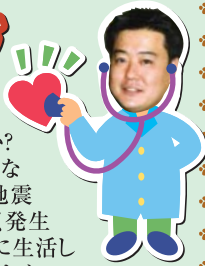


## 院長からのメッセージ

院長 石黒英昭



日々寒くなりましたが、皆さんお変わりありませんか？  
 今年は、夏の異常な暑さによる熱射病、過去にない数の台風上陸、台風における災害、そして地震による多大なる被害など天災による事故が多く発生しました。何か被害が起こるたび、日々を普通に生活していくことのありがたさを改めて実感させられました。  
 私事になりますが、秋になって過ごしやす季節になったというのに、今まで病気ひとつしなかった私が、体調を崩しちょこちょこ病院に通うようになりました。自分も年を取ったのだなあ実感しています。いつも診察している側ですが、もっとうんちゃん、ネコちゃんが安心できる病院作りをしなくてはと、病院に通いながら思いました。  
 動物は寒さに強いといいますが、最近は室内で飼われることが多くなり、寒がりのワンちゃん、ネコちゃんが多いようです。核家族、少子化に伴い、ペットを飼われるケースが多いようです。ペットの生活スタイルもより人に近くなり、病気も多種多様になってきました。特に高齢のペットの腫瘍発生率は高く、どのような形で治療を進めていけばペット、オーナーにもベストかよく考えさせられます。ペットとの生活の中で何か困ったこと、分からないことがあれば、気軽に相談して下さい。

## ちょっとしたおはなし



### 低温やけどに注意

寒いこれからの季節、ワンちゃん、ネコちゃんに暖房を考える飼い主さんも多いですね。  
 このとき、人間と同じようにワンちゃん、ネコちゃんについても考えなければいけないのは、低温やけどの危険性です。  
 低温やけどは、体温に近い温度の熱源を長時間身体の同じ部分に密着させると発生します。  
 ヒーターマットや湯たんぽなどを入れてあげる時は、肌に密着させないように、タオルなどでくるんであげて下さいね。

### ペットの寿命が延びました

先日、新聞に国内の犬とネコの平均寿命がこの10年あまりで大幅に伸びたという記事を見ました。  
 犬は11.9才(3才以上長い)、ネコは9.9才(ほぼ2倍)だそうです。予防医学が徹底されてきたからでしょう。人間同様、ホスピスや介護をもっと真剣に考えていかななくてはいけないのだと感じました。

## 皮膚病

前回4号で、ノミ・マダニアレルギー、外耳炎、趾間性膿皮症を取り上げたので、今回は食物アレルギーについてお話しします。

### 【食物アレルギー】

食物アレルギーとは、ことばのとおり食事が原因で起こるアレルギーです。  
 このアレルギーは、食べ物に含まれるタンパク質が原因とされ、犬種・猫種・年齢・性別に関係なく起こります。  
 また特に暑い時期に多い皮膚病と違い、食物アレルギーはどんな季節にも起こります。  
 これから冬になり、春～夏に多かった皮膚病も減ってくると思います。この季節でも身体中をかゆがったり、耳が赤くなりかゆがっている場合は要チェックですね。  
 当院では、かゆみを引き起こす原因物質(アレルゲン)を食物だけではなく、草・木・ハウスダストなどの吸入物質92種類を調べることの出来るアレルギー検査を行っています。  
 結果を見ながら、どのような食べ物が好ましいか、散歩中避けなければならない草・木などを指導していきます。  
 かゆみを繰り返す皮膚病のワンちゃん、ネコちゃんは相談して下さいね。



### 現在当院で使用している食物アレルギー用のフード

- **ベッツプラン**③ [タンパク質源] ・七面鳥 ・お米
- **レスポンスフォーミュラK0** [タンパク質源] ・カンガルー
- **セレクトプロテイン** [タンパク質源] ・キャットフィッシュ(なます) ・お米



## まいちゃん、はっちゃんの



しつけの

## ポイント

### スキンシップで健康と信頼関係を築く!!!

日頃のグルーミング、爪切りや歯磨きなどは、飼い主さんの大切な役割です。体を触ること＝スキンシップは、ペットの健康チェックと何よりも愛情を交わす最良の方法です。  
 これを繰り返すことが、信頼関係を築くことにつながります。  
 「きれいな耳ね」、「お腹も見せてね」と大いにほめながら全身を触ってチェックしましょう。

### ★健康チェックのポイント

- 抱き上げた時に、体重が軽い、なんとなく元気がないなど大まかな健康状態がわかります。
- 体中を触れば、被毛がカサカサしている、どこかを触られると嫌がる、体表面に何かできているなどのチェックができます。
- 頭のほうから順に、目、鼻、耳、口、爪、お腹の乳腺や下腹部の辺り、お尻を触ってみましょう。



ほめながら、根気よくがんばりましょう。

おてんば

## ナナちゃんのジェントルリーダー日記



当院の看板犬であるナナちゃんは、とにかく引っ張りグセが強く、散歩時は私たちが散歩させられている状態です。散歩の時は、ナナがリーダーだと思いつているようです。  
 そこでっ！10月20日よりナナちゃんの引っ張りグセを直すため、ジェントルリーダー(ニュースレター第2号で紹介)を使用しています。



ジェントルリーダーをつけたナナちゃん。ちょっと嫌そう・・・。

今後のニュースレターに、ナナちゃんの変化をご報告していきたいと思います。